このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

LAN7130E

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本マニュアルをお読みください。

安全上の注意表示

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

警告		
プリンター内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギアが回転するのでケガのおそれがあります。	プリンターの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。	クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
水の入ったコップなどを装置の上に載せないでください。感電、火災のおそれがあります。	電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。	UPS（無停電電源）およびインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。

- ユーザーズマニュアル　…本書
  ネットワークの初期設定方法など、初期セットアップの説明が記載されています。
  ユーティリティーとネットワークの応用設定の情報も含まれています。
- インストールガイド
  ネットワークカードをプリンターに取り付ける方法を図解しています。
- 製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて
  製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについての説明が記載されています。

このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。

! 注

- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。

メモ

- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。

参照

- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠警告

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
[　]	● コンピューターのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「　」	● 入力テキストを示します。 ● コンピューター上でのファイル名を示します。 ● 参照先のタイトルを示します。
<　> ボタン / キー	コンピューターのキーボードのキーを示します。
>	プリンターまたはコンピューターのメニュー階層を示します。

本書の表記

本書では、以下の表記をしている場合があります。

- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows 7 (64bit 版)
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows Vista (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版→ Windows Server 2008(64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版→ Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版→ Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版→ Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版→ Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版→ Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版→ Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版→ Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- Web Services on Devices → WSD

※特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。（Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。）

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、プリンターは MICROLINE 8460HU2、CD-ROM のドライブ名は「D:」を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

諸注意

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Active Directory、Excel、Internet Explorer、および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bonjour は、米国 Apple Inc., の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載されている製品名またはブランド名は、各社の登録商標または商標です。

This product contains the software developed by Heimdal Project.

NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Please see info documentation for the complete list of licenses.

This is a copy of the current LICENSE file inside the CVS repository.

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

   This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

紙幣、有価証券などの印刷について

● 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。

● 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。

- 株券・手形・小切手などの有価証券
- 公務員又は役所が作成した証明書などの文書
- 契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名、記号
- 私人の印影または署名

● 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律

刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

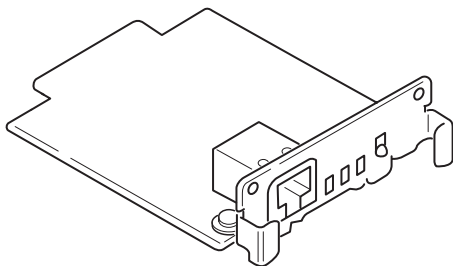
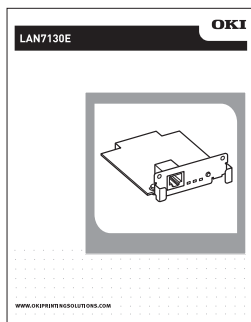
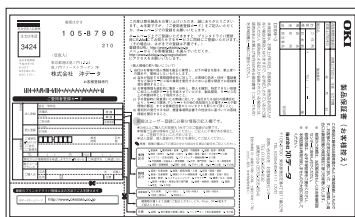
1. セットアップする

この章では、セットアップについて説明します。

製品の確認

パッケージの内容の確認

以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

- ネットワークカード

- インストールガイド

- 保証書

- ネットワークソフトウェア CD-ROM

- 取り付けねじ (2 本)

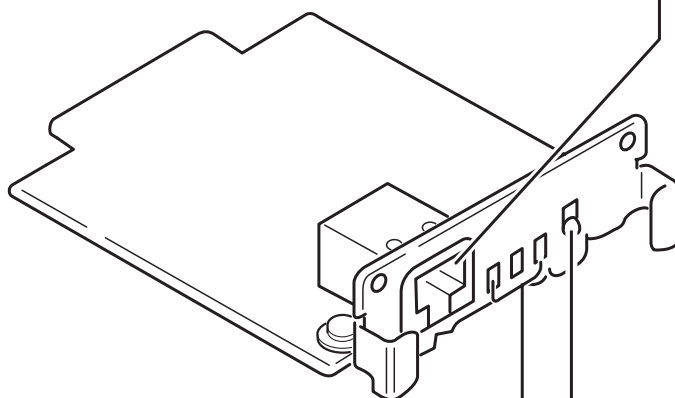
! 注

- イーサネットケーブルは同梱されていません。別途用意してください。

● ネットワークカード各部の名称

100 BASE-TX/10 BASE-T 用コネクター
ツイストペアケーブルで接続します。

! 注

- 100 BASE-TX と 10 BASE-T は自動切り替えです。

STAT ランプ（橙）
データ受信時に点滅します。

LINK 10M ランプ（緑）
10 BASE-T で接続すると点灯します。

LINK 100M ランプ（緑）
100 BASE-T で接続すると点灯します。

プッシュスイッチ
イーサネットボードの初期化と自己診断テストと
設定内容の印刷ができます。

コンピューターに接続する

この節では、プリンターをネットワーク経由でコンピューターに接続し、添付の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールする方法について説明します。CD-ROM ドライブが付属されているコンピューターを用意してください。

■ 動作環境

ネットワーク接続は次のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。

- Windows 7/Windows 7（64bit 版） 日本語版
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版） 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（x64 版） 日本語版
- Windows XP/Windows XP（x64 版） 日本語版
- Windows Server 2003/Windows Server 2003（x64 版） 日本語版
- Windows 2000 日本語版

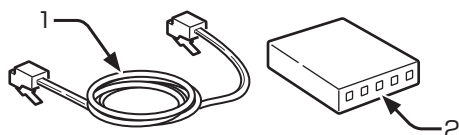
ネットワーク接続

ネットワークを介してプリンターをコンピューターに接続します。

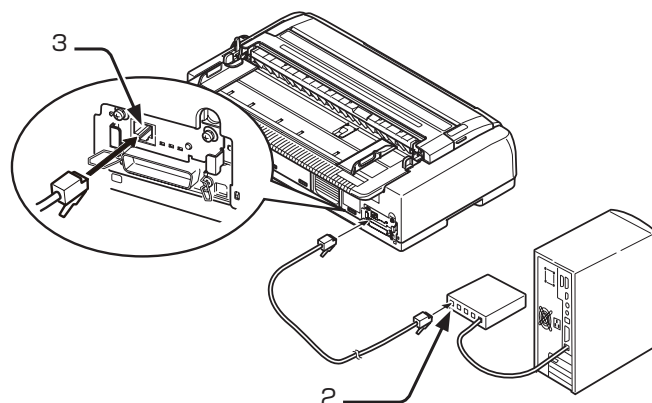
イーサネットケーブルの接続

プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをイーサネットケーブルでネットワークに接続してください。

1 イーサネットケーブル（1）とハブ（2）を用意します。

イーサネットケーブル（カテゴリ 5 以上、ツイストペア、ストレート）とハブを別途用意してください。

2 プリンターとコンピューターの電源を切ります。

3 イーサネットケーブルの一端を、プリンターのネットワークインターフェースコネクター（3）に差し込みます。

4 イーサネットケーブルの他端をハブ（2）に差し込みます。

プリンタードライバーのインストール

Windows コンピューターとのネットワーク接続を完了するには、最初にプリンターの IP アドレスを設定し、次にプリンタードライバーをコンピューターにインストールします。

ネットワーク上に DHCP サーバーや BOOTP サーバーがない場合、手動でコンピューターやプリンターに IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルーターメーカーより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピューターやプリンターに IP アドレスを設定する必要があります。

! 注

- 次の手順を行う前に、コンピューターのネットワーク設定を完了させてください。
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスを手動で設定する場合、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに、使用する IP アドレスを問い合わせてください。IP アドレスを誤って設定すると、ネットワークが停止したりインターネットアクセスが不能になることがあります。

メモ

- プリンターと 1 台のコンピューターで小さなネットワークを構成する場合は、以下に示すとおりに IP アドレスを設定します（RFC1918 に準拠）。

コンピューター

IP アドレス：	192.168.0.1 ～ 254
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	不使用
DNS サーバー	不使用

プリンター

IP アドレス設定：	手動
IP アドレス：	192.168.0.1 ～ 254 （コンピューターとは異なる値を選択します）
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	0.0.0.0

❏ まず、プリンターの IP アドレスを設定します。プリンターのネットワークの設定を行うため「**AdminManager**」のインストールを行います。詳細は「AdminManager」（P.22）をご覧ください。

1 ネットワークカードに添付の「**ネットワークソフトウェア CD-ROM**」を挿入します。

［**ユーザーアカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**続行**］をクリックしてください。

メモ

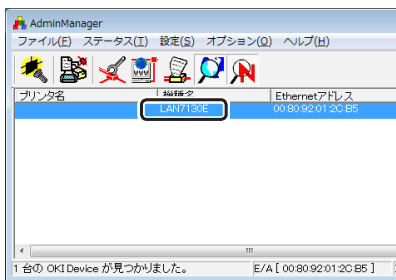
- WindowsVista で［**自動起動**］のダイアログが表示されたら、［**Setup.exe の実行**］をダブルクリックしてください。
- ネットワークソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてもなにも表示されない場合は、「**D:¥Setup.exe**」をダブルクリックしてください。

2 **使用許諾契約**を読んで、［**同意する**］をクリックします。

3 以下の画面が表示されたら、［**NIC 設定ツール**］を選択し、クリックします。

4 Setup Utility が起動したら、使用する言語をクリックします。

5 ［**OKI Device Standard Setup**］をクリックします。

6 一覧から Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンターを選択します。

機種名には、「**LAN7130E**」と表示されます。

注

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報の「**NIC Check**」に表示されています。
- 初期設定では「**DHCP/BOOTP protocol**」が「**ENABLE**」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。
- ファイアウォール等のセキュリティソフトを設定している場合、プリンターが検出できない場合があります。この場合、ファイアウォール等のセキュリティソフトを停止させるか、AdminManager を例外登録してから再度確認してください。詳細は「プリンターを検出できないとき」(P.43)をご覧ください。

7 ［**設定**］メニューから［**OKI Device の設定**］を選択します。

8 IP アドレス設定の確認メッセージが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

9 IP アドレスを設定し［**OK**］をクリックします。

10 ［**パスワード入力**］にパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

注

- 工場出荷時のパスワードは［**Ethernet アドレス**］の下 6 桁です。
- パスワードを入力すると、画面上では「**********」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

11 IP アドレス設定完了メッセージが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

12 IP アドレスが正しく設定されていることを確認し、AdminManager を終了します。

❑ 次に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。

1 プリンター本体に添付されているプリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2 ［**自動再生**］が表示されたら、［**Setup.exe の実行**］をクリックします。

［**ユーザーアカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**続行**］をクリックしてください。

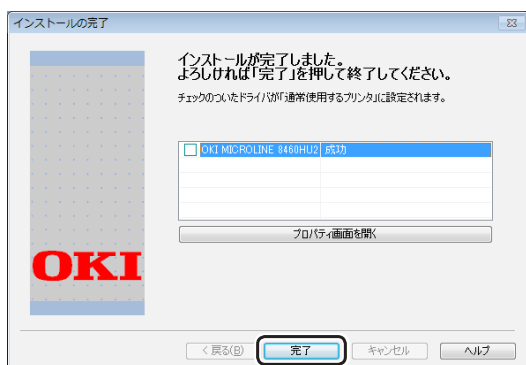
メモ

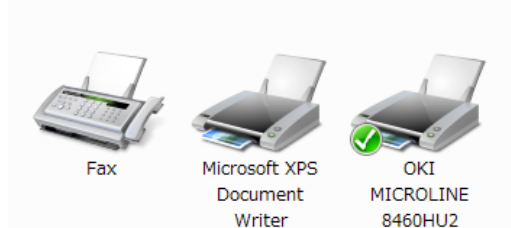
- WindowsVista で［**自動起動**］のダイアログが表示されたら、［**Setup.exe の実行**］をダブルクリックしてください。
- プリンターソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてもなにも表示されない場合は、「**D:¥Setup.exe**」をダブルクリックしてください。

3 ［**モデルの選択**］の画面が表示された場合は、該当機種を選択し、［**次へ**］をクリックします。

4 **使用許諾契約**を読んで、［**同意する**］をクリックします。

5 以下の画面が表示されたら、[**ドライバのインストール**］を選択し、[**かんたんインストール**]（ネットワーク接続）をクリックします。

6 [**インストールの完了**] 画面が表示されたら、[**完了**] をクリックします。

7 Windows の［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

8 OKI MICROLINE 8460HU2 アイコンが表示されていることを確認します。

9 「プリンターソフトウェア CD-ROM」をコンピューターから取り出します。

❏ 最後に、コンピューターからテスト印刷をします。

1 プリンタードライバのプロパティを開きます。

2 テスト印刷をクリックします。
これで、インストールは完了です。

2. ユーティリティーソフトウェアを使う

この章では、プリンターを使用するときに役立つソフトウェア機能を説明します。

● 各ユーティリティーの概要

この節では、プリンターで使用できるユーティリティーについて説明します。ユーティリティーの使用方法については、各セクションを参照してください。

Windows ユーティリティー

項目	機能対象	説明	システム要件	参照先
AdminManager	ネットワークカード設定	プリンターのネットワーク設定やステータスの確認が出来ます。IP アドレスの変更もできます。	Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	22 ページ
Quick Setup	プロトコル簡易設定	各プロトコルの有効 / 無効を簡易に設定します。		24 ページ
OKI LPR ユーティリティ	プリント	ネットワーク接続での印刷、印刷の管理、プリンターの状態の確認ができます。 また、プリンターの IP アドレスが変更になった場合、自動で再設定することができます。	Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000	25 ページ
PrintSuperVision MultiPlatform Edition [*1]	本体管理	ネットワークに接続されるプリンターを管理する Web ベースのアプリケーションです。 複数の装置の設定情報や消耗品情報を確認できます。 また、プリンター毎の日々の印刷枚数をグラフで表示することができます。	Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008 R2/ Windows Server 2008/ Windows XP/ Windows Server 2003/ Windows 2000 SP4 詳しくは沖データホームページを参照してください。	-

[*1] 「ネットワークソフトウェア CD-ROM」に収録されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

ユーティリティーをインストールする

「ネットワークソフトウェア CD-ROM」からインストールする

使用したいユーティリティーがあるときは、以下の手順でインストールします。

1. 「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をコンピューターに挿入します。
2. [**Setup.exe の実行**] をクリックします。
   [**ユーザー アカウント制御**] ダイアログが表示されたら、[**はい**] をクリックします。
3. 言語を選択し、[**次へ**] をクリックします。
4. **使用許諾契約**を読み、[**同意する**] をクリックします。
5. インストールしたいユーティリティーを選択します。
6. [**終了**] をクリックします。

沖データホームページからダウンロードしてインストールする

使用したいユーティリティーがあるときは、以下の手順でインストールします。

1. 沖データホームページ（**http://www.okidata.co.jp/**）にアクセスします。
2. 使用したいユーティリティーを選択し、画面の指示に従ってダウンロードします。
3. コンピューターにダウンロードされたアイコンをダブルクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

Windows ユーティリティー

この節では、Windows で使用できる Web ページを説明します。

Web ページを使用するには、次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっていること。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降がインストールされていること。

メモ

- Web ページのセキュリティー設定を中レベルに設定するか、Cookie を有効にしてください。
- ［**管理者用メニュー**］メニューに入るには、管理者パスワードが必要です。工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

Web ページ

Web ページから、次の操作を実行できます。

- プリンターの状態を表示する。
- ネットワーク、機能の初期設定、プリンターの設定をする。

メモ

- Web ページでプリンターの設定変更を行うには、装置の管理者としてログインする必要があります。

参照

- ネットワークの設定方法については、「Web ページからネットワーク設定を変更する」（P.31）を参照してください。

プリンターの Web ページにアクセスする

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに、「http://（プリンターの IP アドレス）」を入力し、<**Enter**> ボタンを押します。

管理者としてログインする

注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- 工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。

1 トップページの［**管理者のログイン**］をクリックします。

2 ［**ユーザー名**］に「root」を、［**パスワード**］にプリンターの管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

3 ［**スキップ**］をクリックします。

この画面で設定を変更したときは、［**OK**］をクリックします。

管理者用の設定メニューが表示されます。

管理者パスワードを変更する

Webページから、プリンターの管理者パスワードを変更できます。Webページで指定する管理者パスワードは、Webページからプリンターにログインするときに使用されます。

メモ

- パスワードは半角英数字4文字以上24文字以内まで入力できます。
- パスワードは大文字/小文字が区別されます。

1 Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**ネットワークパスワード変更**］を選択します。

4 ［**新しいWebパスワード**］に、新しいパスワードを入力します。

5 ［**新しいWebパスワードの再入力**］に、パスワードを再度入力します。

入力したパスワードは表示されません。パスワードを書き留めて、安全な場所で管理してください。

6 ［**送信**］をクリックします。

新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

メモ

- プリンターを再起動する必要はありません。次回、管理者としてログインするときは、新しいパスワードを使用します。

AdminManagerとTelnetのパスワードを変更する

Webページから、AdminManagerとTelnetのパスワードを変更できます。

メモ

- パスワードは半角英数字15文字まで入力できます。
- パスワードは大文字/小文字が区別されます。
- AdminManagerとTelnetのパスワードは共通です。

1 Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**パスワード変更**］を選択します。

4 ［**新しい管理者パスワード**］に、新しいパスワードを入力します。

5 ［**新しい管理者パスワードの再入力**］に、パスワードを再度入力します。

入力したパスワードは表示されません。パスワードを書き留めて、安全な場所で管理してください。

6 ［**送信**］をクリックします。

新しい設定は、ネットワーク機能が再起動してから有効になります。

プリンターの状態を確認する

Webページから、プリンターの状態を確認できます。

1 Webブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

プリンターの状態が表示されます。

! 注

- プリンターの状態を取得するのに時間がかかる場合があります。Webページが正しく表示できない場合には、少し時間をおいて再度読み込みを行ってください。

メモ

- 管理者としてログインしているときは、［**ステータスウィンドウ**］をクリックすると、プリンターの状態を簡易的に表示できます。

プリンターの設定を変更する

Webページから、プリンターの設定を変更できます。

1 Webブラウザーを起動し、管理者としてログインします。

2 設定を変更し、［**送信**］をクリックします。

AdminManager

プリンターのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

Windows 7/Server 2008R2/Server 2008/Vista/Server 2003/XP/2000 日本語版が動作しているコンピューター
TCP/IP で動作しているコンピューター

注

- コンピューターはプリンターと同一セグメント上に存在している必要があります。
- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows 7 を例にしています。

AdminManager を起動する

1. プリンターの電源を入れます。
2. ネットワークカードに添付の「**ネットワークソフトウェア CD-ROM**」を挿入します。
3. [**自動再生**] が表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をクリックします。

   [**ユーザーアカウント制御**] ダイアログが表示されたら、[**続行**] をクリックしてください。

メモ

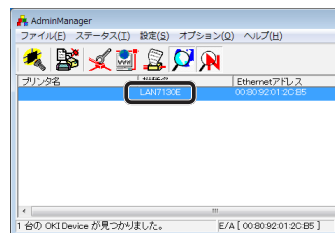
- WindowsVista で [**自動起動**] のダイアログが表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をダブルクリックしてください。
- ネットワークソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてもなにも表示されない場合は、「**D:¥Setup.exe**」をダブルクリックしてください。

4. **使用許諾契約**を読んで、[**同意する**] をクリックします。
5. [**NIC 設定ツール**] をクリックします。

6. [**使用する言語**] をクリックします。
7. [**OKI Device Standard Setup**] をクリックします。
8. [**インストールしてから起動する**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。

   AdminManager が起動します。

プリンターのネットワーク設定をする

1. 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンターを選択します。

   機種名には、「**LAN7130E**」と表示されます。

注

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報の「**NIC Check**」に表示されています。
- 初期設定では「**DHCP/BOOTP protocol**」が「**ENABLE**」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバーがある場合はサーバーから取得した IP アドレスが表示されます。
- ファイアウォール等のセキュリティソフトを設定している場合、プリンターが検出できない場合があります。この場合、ファイアウォール等のセキュリティソフトを停止させるか、AdminManager を例外登録してから再度確認してください。詳細は「プリンターを検出できないとき」(P.43) をご覧ください。

2. [**設定**] メニューから [**OKI Device の設定**] を選択します。
3. [**パスワード入力**] にパスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

注

- 工場出荷時のパスワードは [**Ethernet アドレス**] の下 6 桁です。
- パスワードを入力すると、画面上では「**********」と表示されます。
- パスワードは、大文字 / 小文字が区別されます。

4 必要な項目を入力し、[**設定**] をクリックします。

項目	設定内容
General タブ	パスワードを変更します。
TCP/IP タブ	IP アドレスなどの設定をします。
NetWare タブ	NetWare を利用する場合に設定します。
NetBEUI タブ	NetBEUI を利用する場合に設定します。
SNMP タブ	SNMP を利用する場合に設定します。
SNTP タブ	SNTP を利用する場合に設定します。
Maintenance タブ	ネットワークサービスの使用制限を設定します。
SSL/TLS タブ	SSL/TLS を利用する場合に設定します。
Kerberos タブ	Kerberos を利用する場合に設定します。
Printer Port タブ	ポートに関する情報を設定します。

5 設定に間違いがなければ、[**OK**] をクリックします。

6 設定値を有効にするため、[**はい**] をクリックします。

! 注

- リブート後プリンターは新しい設定値で動作します。

7 AdminManager を終了します。

環境を設定する

AdminManager の環境を設定することができます。
[**オプション**] メニューの [**環境設定**] を選択します。

項目	設定内容
TCP/IP タブ	TCP/IP でプリンターの検索をするかどうか設定します。 ブロードキャストアドレスを設定します。
SNMP タブ	SNMP でプリンター名の取得をするかどうか設定します。対象のコミュニティ名を設定します。
Timeout タブ	プリンターからの応答待ち時間を秒単位で設定します。 AdminManager とプリンターの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。 AdminManager とプリンターの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンターの簡易設定ができます。

動作環境

Windows 7/Server 2008R2/Server 2008/Vista/Server 2003/XP/2000 日本語版が動作しているコンピューター
TCP/IP で動作しているコンピューター

注

- コンピューターはプリンターと同一セグメントに存在している必要があります。
- セットアップにはコンピューターの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows 7 を例にしています。

起動する

1 プリンターの電源を入れます。

2 コンピューターの電源を入れ、「ネットワークソフトウェア CD-ROM」を挿入します。

3 [**自動再生**] が表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をクリックします。

[**ユーザーアカウント制御**] ダイアログが表示されたら、[**続行**] をクリックしてください。

メモ

- WindowsVista で [**自動起動**] のダイアログが表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をダブルクリックしてください。
- ネットワークソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてもなにも表示されない場合は、「**D:¥Setup.exe**」をダブルクリックしてください。

4 **使用許諾契約**を読んで、[**同意する**] をクリックします。

5 [**NIC 設定ツール**] をクリックします。

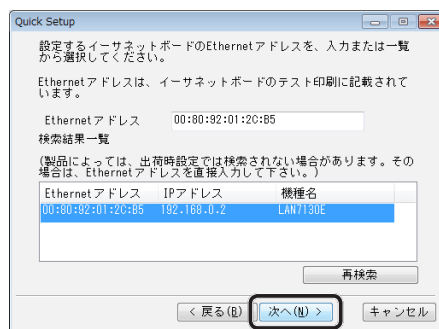
6 [**使用する言語**] をクリックします。

7 [**OKI Device Quick Setup**] をクリックします。

8 [**次へ**] をクリックします。

9 設定を行うプリンターの Ethernet アドレスを選択して、[**次へ**] をクリックします。

機種名には、「**LAN7130E**」と表示されます。

注

- Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報の「**NIC Check**」に表示されています。

Quick Setup で設定する

1 TCP/IP の設定を行い、[**次へ**] をクリックします。

2 NetWare の設定を行い、[**次へ**] をクリックします。

3 NetBEUI の設定を行い、[**次へ**] をクリックします。

4 設定内容を確認し、[**実行**] をクリックします。

設定値がプリンターに送信されます。

5 設定値を有効にするために、[**完了**] をクリックします。

6 Quick Setup を終了します。

注

- リブート後プリンターは新しい設定値で動作します。

OKI LPR ユーティリティ

OKI LPR ユーティリティを使って、ネットワーク経由の印刷、印刷の管理、プリンターの状態の確認ができます。

LPR ユーティリティのインストール方法については「ユーティリティーをインストールする」（P.19）を参照してください。

OKI LPR ユーティリティを使用するには、TCP/IP が有効になっている必要があります。

注

● 共有プリンターでは OKI LPR ユーティリティを使用できません。Standard TCP/IP ポートをお使いください。

起動する

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］（Windows 2000 では［**プログラム**］）>［**沖データ**］>［**OKI LPR ユーティリティ**］>［**OKI LPR ユーティリティ**］を選択します。

プリンターを追加する

OKI LPR ユーティリティにプリンターを追加します。

注

● 管理者の権限が必要です。

● Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 でプリンターを追加できない場合、一度 OKI LPR ユーティリティを終了し、［**スタート**］>［**すべてのプログラム**］>［**沖データ**］>［**OKI LPR ユーティリティ**］>［**OKI LPR ユーティリティ**］を右クリックし、［**管理者として実行**］を選択して起動してください。

メモ

● すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンターは設定できません。ポートを変更したい場合は、［**リモートプリント**］から［**プリンタの再設定**］を選択します。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの追加**］を選択します。

3 ［**プリンタ名**］を選択し、IP アドレスを入力します。

ネットワークプリンターと、LPR ポートに接続されているプリンターは、表示されません。

4 ネットワークプリンターを選択するときは、［**検索**］を選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

ファイルをダウンロードする

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンターに、ファイルをダウンロードします。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ダウンロード先のプリンターを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**ダウンロード**］を選択します。

4 ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。

プリンターの状態を表示する

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンターを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタのステータス**］を選択します。

ジョブを確認 / 削除 / 転送する

印刷ジョブの確認と削除ができます。また、ビジー、オフライン、用紙切れなどが原因で、印刷できないときは、別の OKI モデルのプリンターに印刷ジョブを転送することもできます。

注

● 印刷ジョブの転送は、お使いの OKI モデルプリンターと同じ機種名のプリンターにだけ可能です。

● ジョブを転送する前に、プリンターを追加する必要があります。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［**リモートプリント**］メニューから［**ジョブの表示**］を選択します。

3 ジョブを削除したいときは、ジョブを選択し、［**ジョブ**］メニューから［**削除**］を選択します。

4 ジョブを転送したいときは、ジョブを選択し、［**ジョブ**］メニューから［**転送**］を選択して転送先プリンターを選択します。

複数台のプリンターで印刷する

1 回の指示で、複数台のプリンターから印刷ができます。

注

● 1 つの印刷コマンドを複数台のリモートプリンターに送信して、同時印刷を実行する機能です。

● 管理者の権限が必要です。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 設定したいプリンターを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。

4 ［**詳細設定**］をクリックします。

5 ［**他のプリンタにも同時に印刷する**］にチェックをつけます。

6 ［**設定**］をクリックします。

7 ［**追加**］をクリックします。

8 同時に印刷するプリンターの IP アドレスを入力し、［**OK**］をクリックします。

9 ［**OK**］をクリックします。

Web ページを開く

OKI LPR ユーティリティから、プリンターの Web ページを開くことができます。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンターを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**Web 設定**］を選択します。

メモ

- Web のポート番号を変更したときは Web ページが開きません。次の手順を実行して、OKI LPR ユーティリティのポート番号を再設定します。

a プリンターを選択します。

b ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。

c ［**詳細設定**］をクリックします。

d ［**ポート番号**］に、ポート番号を入力します。

e ［**OK**］をクリックします。

プリンターにコメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンターを識別するためのコメントを追加できます。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 プリンターを選択します。

3 ［**リモートプリント**］メニューから［**プリンタの再設定**］を選択します。

4 コメントを入力し、［**OK**］をクリックします。

5 ［**オプション**］メニューから［**コメント欄を表示**］を選択します。

IP アドレスを自動的に設定する

プリンターの IP アドレスが変更されても、元のプリンターとの接続を維持するように設定できます。

注

- 管理者の権限が必要です。

メモ

- DHCP によって IP アドレスを動的に割り当てているときや、ネットワーク管理者がプリンターの IP アドレスを手動で変更するときは、IP アドレスが変更される可能性があります。

1 OKI LPR ユーティリティを起動します。

2 ［**オプション**］メニューから［**設定**］を選択します。

3 ［**自動的に IP アドレスを再設定する**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

アンインストールする

注

- 管理者の権限が必要です。

1 OKI LPR ユーティリティを閉じていることを確認します。

2 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］（Windows 2000 では［**プログラム**］）＞［**沖データ**］＞［**OKI LPR ユーティリティ**］＞［**OKI LPR ユーティリティの削除**］を選択します。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

3 確認画面で［**はい**］をクリックします。

TELNET

Telnet コマンドで、各種設定をすることができます。

注

- 初期設定では、プリンターの Telnet アクセスは無効に設定されています。
  Telnet コマンドを使うためには、Web ページで［**Telnet**］を［**ENABLE**］に設定してください。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 では Telnet コマンドが初期設定では無効になっています。
  Telnet コマンドを使うためには、［**スタート**］＞［**コントロールパネル**］＞［**プログラム**］＞［**プログラムと機能**］＞［**Windows の機能の有効化または無効化**］を選択します。表示されたダイアログで［**Telnet クライアント**］を有効化する設定をします。

メモ

- 次の手順では､以下の環境を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。
  - OS：Windows 7
  - IP アドレス：192.168.0.2
  - MAC アドレス：00:80:92:84:9C:9B

1 ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**アクセサリ**］＞［**コマンド プロンプト**］を選択します。

2 「（ドライブパス）：¥Users ¥ユーザー名 >」に続けて「ping（スペース）プリンターの IP アドレス」を入力します。<**Enter**> ボタンを押してアクセスが有効であることを確認します。

例：「C: ¥Users ¥WINDOWS>ping 192.168.0.2」

3 「telnet（スペース）」のあとに続けて、プリンターの IP アドレスを入力し、<**Enter**> ボタンを押して Telnet 経由でプリンターにアクセスします。

例：
「C: ¥Users ¥WINDOWS>telnet 192.168.0.2」

4 「login:」のあとに「root」と入力し、<**Enter**> ボタンを押します。

5 プロンプトが表示されたら、「password:」のあとにパスワードを入力し、<**Enter**> ボタンを押します。

例：「password: 849C9B」と入力します。

メモ

- 「root」の工場出荷時のパスワードは、プリンターの MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

6 メニューコマンドが表示されたら、変更したいメニュー番号を入力し、<**Enter**> ボタンを押します。

7 必要に応じて、設定を変更します。

8 設定を保存して、ログアウトします。

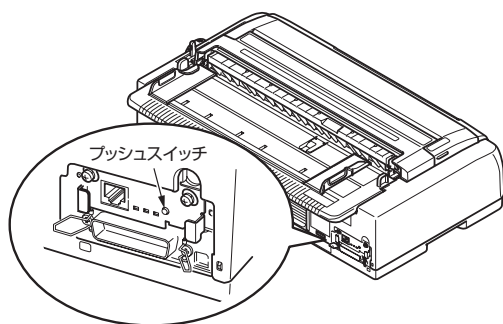
3. ネットワークに関する設定

この章では、プリンターのネットワーク設定について説明します。

ネットワークの設定情報を印刷します

1 コンピューターとプリンターをイーサネットケーブルで接続し、コンピューターの電源を入れます。

2 プリンターの電源を入れ、オンラインになったことを確認します。

3 プッシュスイッチを 3 秒間以上押し続けてから、離します。

ネットワークの設定情報が印刷されます。

ネットワーク機能を初期化します

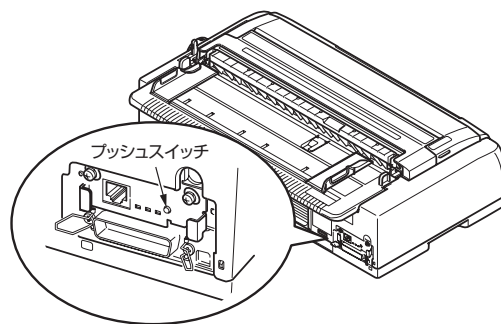
注

- 初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンターの電源を切ります。

メモ

- 電源の切り方はプリンター本体のユーザーズマニュアルをご覧ください。

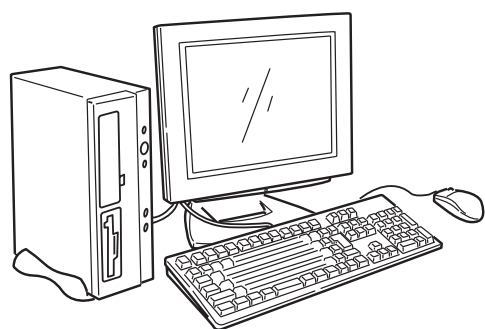
2 プッシュスイッチを押したまま、プリンターの電源を入れ、5 秒以上押した後で、離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

IP アドレスの設定

■ IP アドレスとは…

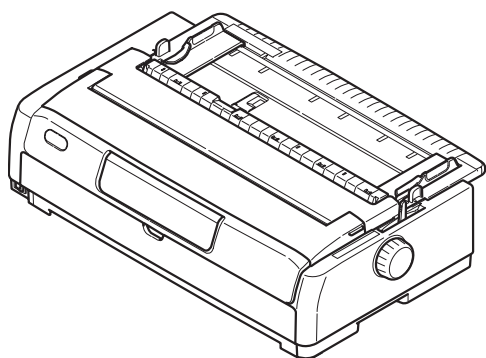
TCP/IP プロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピューターとプリンターに IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスはネットワーク上に接続されたコンピューターやプリンターの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

（例）

コンピューター

IP アドレス :192. 168. 0. 3

ネットワークアドレス（192. 168. 0.） ホスト ID（3）

サブネットマスク :255. 255. 255. 0
ゲートウェイ :192. 168. 0. 1

プリンター

IP アドレス :192. 168. 0. 2

ネットワークアドレス（192. 168. 0.） ホスト ID（2）

サブネットマスク :255. 255. 255. 0
ゲートウェイ :192. 168. 0. 1

IP アドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3 桁の数字が 4 つに区切られた形で設定します。

例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい､残りの「3」や「2」をホスト ID といいます。

標準的なネットワークの場合、コンピューターとプリンターのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。

ホスト ID は、どの機器とも重複しないような値で、1 ～ 254 の間で設定します。

また、IP アドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは｢255.255.255.0｣を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータの IP アドレスを指定します。通常、サブネットマスクとゲートウェイはコンピューターとプリンターで同じ値に設定します。

■ コンピューターの IP アドレス

お手元のコンピューターに設定されている IP アドレスを確認しましょう。

コンピューターの IP アドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。

インターネットをご利用の場合、接続しているプロバイダやルーターメーカーから指定された値に設定されています。
何の値が設定されているかや DHCP などのサーバーがあるかどうかは、プロバイダやルーターメーカーに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピューターは初期設定で「IP アドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルーター（ADSL ルーターや ISDN ルーター）には DHCP サーバーが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピューターに何も設定しなくても、ルーターに接続し、コンピューターの電源を入れただけで、サーバーより自動的に IP アドレスを取得します。

お手元のコンピューターの取得している IP アドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

Windows の場合

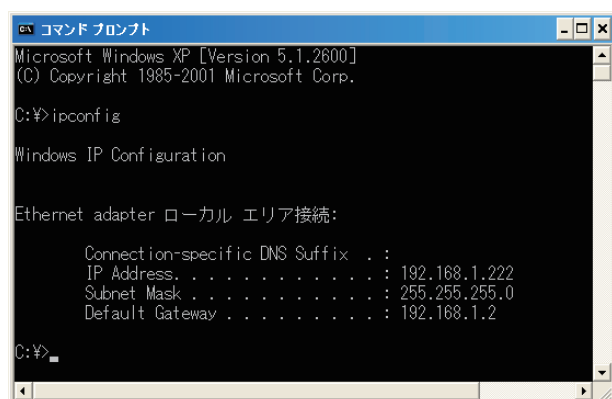
1 Windows を起動します。

2 コマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）を選択します。

〈Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 の場合〉
[スタート] ＞ **[すべてのプログラム]** ＞ **[アクセサリ]** ＞ **[コマンドプロンプト]** を選択します。

〈Windows 2000 の場合〉
[スタート] ＞ **[プログラム]** ＞ **[アクセサリ]** ＞ **[コマンドプロンプト]** を選択します。

3 キーボードから [**ipconfig**] と入力し、[**Enter**] キーを押します。

現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

プリンターの IP アドレスを確認する

現在、プリンターにどんな IP アドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンターに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報に表示されています。ネットワークの設定情報を印刷し、IP アドレスを確認してください。(P.28)

プリンターの IP アドレスを設定する

ネットワークの環境に応じて、プリンターに IP アドレスを設定しましょう。

（1）初期設定のまま使用する

● ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバなどがある場合

プリンターは初期設定で「**DHCP/BOOTP**」と「**RARP**」が「**ENABLE**」に設定されています。

ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバーなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンターの電源を入れただけで、サーバーより自動的に IP アドレスを取得します。

現在のコンピューターとプリンターの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンターの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。
- IP アドレスのホスト ID が、コンピューターとプリンターで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。

● ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバーなどがなく、接続しているコンピューターがすべて Windows の場合プリンターは初期設定で「**DHCP/BOOTP**」と「**RARP**」が「**ENABLE**」に設定されています。

「**ENABLE**」に設定されている場合、「サーバーを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。そのため、ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバーなどがなくても、Windows と通信して自動的に IP アドレスを設定します。

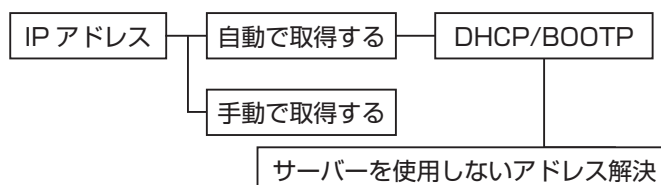
現在のコンピューターとプリンターの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンターの IP アドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IP アドレスのネットワークアドレスが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。
- IP アドレスのホスト ID が、コンピューターとプリンターで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピューターとプリンターで同じ値になっていること。

（2）IP アドレスを手動で設定する

● ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバーなどがなく、接続しているコンピューターのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められた IP アドレスを指定されたなど、(1) に当てはまらない場合プリンターに決められた IP アドレスを手動で設定してください。IP アドレスは、AdminManager や TELNET などで設定できます。設定の詳細は、「AdminManager」(P.22)、「TELNET」(P.27) をご覧下さい。

IP アドレス設定のしくみ（参考）

IP アドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

Web ページからネットワーク設定を変更する

この節では、プリンターの Web ページからネットワーク設定を変更する方法について説明します。

プリンターの Web ページにアクセスするには、ご使用のコンピューターが次の条件を満たしている必要があります。

- TCP/IP が有効になっている。
- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降がインストールされている。

メモ

- Web ブラウザーのセキュリティー設定が中レベルに設定されていることを確認してください。
- [**管理者用メニュー**] に入るには、管理者としてログインする必要があります。工場出荷時の管理者パスワードは「aaaaaa」です。

プリンターエラーをメールで通知する（E メールアラート）

エラーが発生したときにエラー通知メールを送信するようにプリンターを設定できます。通知のタイミングを次のように設定できます。

- 定期的
- エラー発生時のみ

プリンターの設定をする

Web ページを使用して、E メールアラートの設定を行うことができます。

メモ

- [**SMTP サーバー**] でドメイン名を指定する場合は、[**TCP/IP**] 設定において DNS サーバーを設定してください。
- プリンターがメールを送信できるように、メールサーバーを設定する必要があります。メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Internet Explorer 7 をお使いの場合は、テストメールを送信する前に下記の設定を行ってください。ブラウザーの [**ツール**] > [**インターネット オプション**] を選択し、[**セキュリティー**] タブで [**レベルのカスタマイズ**] をクリックします。[**スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに許可する**] で [**有効にする**] を選択してください。

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. [**管理者設定**] を選択します。
3. [**ネットワーク設定**] > [**Email**] > [**送信設定**]
4. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
5. 必要に応じて、[**セキュリティー設定**]、[**付加情報設定**] を設定できます。
6. [**送信**] をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

定期的な通知

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. [**管理者設定**] を選択します。
3. [**ネットワーク設定**] > [**Email**] > [**アラート設定**] を選択します。
4. 通知を受信する E メールアドレスを入力します。
5. 指定したアドレスの [**設定**] をクリックします。
6. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。
7. [**OK**] をクリックします。
8. [**送信**] をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

メモ

- 通知対象のエラーが発生しなかった場合、通知メールは送信されません。

障害発生時の通知

1. 「定期的な通知」の手順 1 ～ 6 を実行します。
   通知を必要とするエラーや警告にチェックをつけると、エラーの発生と通知の送信の時間差を指定するウィンドウが表示されます。
2. エラー通知送信の時間を指定し、[**OK**] をクリックします。
   長い時間を指定すると、エラーが発生し続けているもののみ通知されます。
3. [**OK**] をクリックします。
4. [**送信**] をクリックします。
   ネットワークカードが再起動して、新しい設定を有効にします。

IP アドレスを使用してアクセスを制御する（IP フィルタリング）

IP アドレスを使用して、プリンターへのアクセスを制御することができます。指定された IP アドレスからからの設定または印刷を許可するかどうかを設定できます。工場出荷時の設定では、IP フィルタリングは無効になっています。

注

- 必ず正しい IP アドレスを指定してください。誤った IP アドレスを指定すると、IP プロトコルを使ってプリンターにアクセスできなくなります。
- IP フィルタリングを有効にすると、この設定で指定されていないホストへのアクセスは拒否されます。

メモ

- IP フィルタリングには、IPv4 のみ使用できます。

1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**IP フィルタリング**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

注

- ［**登録する管理者の IP アドレス**］に何も登録されていない場合、指定されている IP アドレス範囲によってはプリンターにアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、［**あなたのホストの IP アドレス**］と使用中のホストの IP アドレスが一致しないことがあります。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

MAC アドレスを使用してアクセスを制御する（MAC アドレスフィルタリング）

MAC アドレスを使用して、プリンターへのアクセスを制限することができます。指定された MAC アドレスからのアクセスを許可したり、拒否したりすることができます。

注

- 必ず正しい MAC アドレスを指定してください。誤った MAC アドレスを指定すると、ネットワークからプリンターにアクセスできなくなります。

メモ

- 各アドレスに対して個別に、許可または拒否を指定することはできません。

1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**MAC アドレスフィルタリング**］を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

注

- ［**登録する管理者の MAC アドレス**］に何も登録されていない場合、指定されている MAC アドレスによってはプリンターにアクセスできなくなることがあります。
- プロキシサーバーを使用している場合は、［**あなたのホストの MAC アドレス**］と使用中のホストの MAC アドレスが一致しないことがあります。

5 ［**送信**］をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

SSL/TLS で通信を暗号化する

コンピューターとプリンターとの間の通信を暗号化することができます。以下の場合に、通信が SSL/TLS で暗号化されます。

- プリンターの設定を Web ページから変更
- IPP 印刷

証明書を作成する

Web ページで証明書を作成することができます。以下の 2 つの証明書を使用できます。

- 自己署名証明書
- 認証局発行証明書

! 注

- 証明書の作成後にプリンターの IP アドレスを変更すると、証明書は無効になります。証明書の作成後にプリンターの IP アドレスを変更しないでください。

1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 ［**管理者設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**暗号化（SSL/TLS)**］を選択します。

4 使用する証明書を選択します。

5 ［**CommonName**］、［**Organization**］などの項目を入力します。

6 ［**送信**］をクリックします。
入力内容が表示されます。

7 入力内容を確認し、［**OK**］をクリックします。
自己署名証明書の場合は、証明書の作成は終了です。画面の指示に従って Web ページを閉じます。
認証局により発行される証明書を取得する場合は、手順 8 に進みます。

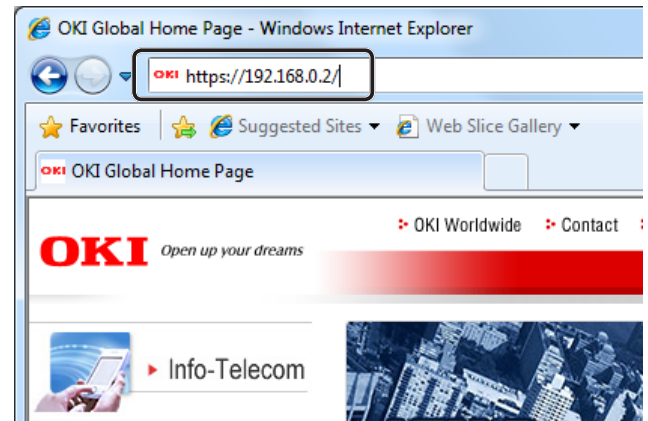
8 画面の指示に従って、CSR を認証局に送信します。

9 画面の指示に従って、認証局からの証明書をインストールします。
発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付けます。

10 ［**送信**］をクリックします。
以上で認証局証明書の作成は終了です。

Web ページを開く

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレスバーに「https:// プリンターの IP アドレス」を入力し、<**Enter**> ボタンを押します。

IPP 印刷

IPP 印刷により、印刷ジョブのデータをインターネット経由でプリンターに送信することができます。

■ IPP 印刷を有効にする

IPP 印刷を実行する場合は、先に IPP を有効にしてください。

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク設定**］＞［**IPP**］＞［**設定**］を選択します。
4. ［**ENABLE**］を選択します。
5. ［**送信**］をクリックします。

■ プリンターを IPP プリンターとしてセットアップする

プリンターを IPP プリンターとしてコンピューターに追加します。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］＞［**プリンターの追加**］を選択します。
2. ［**プリンターの追加**］ウィザードで、［**ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します**］を選択します。
3. 使用可能なプリンターの一覧で、［**探しているプリンターはこの一覧にはありません**］を選択します。
4. ［**共有プリンターを名前で選択する**］を選択します。
5. 「http:// プリンターの IP アドレス /ipp」または「http:// プリンターの IP アドレス /ipp/lp」を入力し、［**次へ**］をクリックします。
6. ［**ディスク使用**］をクリックします。
7. 「プリンターソフトウェア CD-ROM」をコンピューターに挿入します。
8. 次の値を［**製造元のファイルのコピー元**］に入力し、［**参照**］をクリックします。
   - Windows2000 でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥Win2k
   - WindowsXP でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥WinXP
   - Windows Server 2003 でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥Win2003
   - Windows Vista でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥Vista
   - Windows Server 2008 でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥2008
   - Windows7 でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥Win7
   - Windows Server 2008 R2 でご使用の場合：
     D:¥Drivers¥54_8460HU2¥W2008R2

   メモ

   ● 上記の値は、CD-ROM ドライブが D ドライブに設定されている場合の例です。
9. INF ファイルを選択し、［**開く**］をクリックします。
10. ［**OK**］をクリックします。
11. モデルを選択し、［**OK**］をクリックします。
12. ［**次へ**］をクリックします。
13. ［**完了**］をクリックします。
14. インストールが終了したら、テストページを印刷します。

■ IPP 印刷を実行する

メモ

● 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。
3. 作成された IPP プリンターを［**プリンターの選択**］から選択し、［**印刷**］をクリックします。

IPSec で通信を暗号化する

コンピューターとプリンターとの間の通信を暗号化することができます。

IPSec で通信が暗号化されます。IPSec が有効になっていると、IP プロトコルを使用したすべてのアプリケーションに暗号化が適用されます。

最大 5 つのホストを、IP アドレスで指定することができます。登録されていないホストがプリンターへのアクセスを試みると拒否されます。また、登録されていないホストへのアクセスを試みた場合は無効になります。

コンピューターの設定をする前に、プリンターを設定してください。

メモ

- 事前共有キーをあらかじめ用意してください。

プリンターの設定をする

IPSec を有効にするには、先に Web ページを使ってプリンターを設定する必要があります。

注

- IPSec を有効にすると、この手順で指定されていないホストとの通信は拒否されます。

メモ

- この手順で指定した値はメモを取って忘れないようにしてください。コンピューターで IPSec 設定を行うときに必要です。

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク設定**］>［**セキュリティ**］>［**IPSec**］を選択します。
4. 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

   メモ

   - 「Phase2 Proposal」の設定では、［**ESP**］または［**AH**］のいずれかを有効にする必要があります。

5. ［**送信**］をクリックします。

   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

注

- 指定したパラメータの不整合により IPSec をセットアップできなかった場合は、Web ページにアクセスできません。ネットワーク設定を初期化してください。

コンピューターの設定をする

メモ

- コンピューターの設定をする前に、プリンターを設定してください。

1. ［**スタート**］をクリックし、［**コントロールパネル**］>［**システムとセキュリティー**］>［**管理ツール**］を選択します。
2. ［**ローカルセキュリティーポリシー**］をダブルクリックします。
3. ［**ローカルセキュリティーポリシー**］ウィンドウで、［**IP セキュリティーポリシー（ローカルコンピューター）**］をクリックします。
4. ［**操作**］メニューから［**IP セキュリティーポリシーの作成**］を選択します。
5. ［**IP セキュリティーポリシーウィザード**］で、［**次へ**］をクリックします。
6. ［**名前**］と［**説明**］を入力し、［**次へ**］をクリックします。
7. ［**既定の応答規則をアクティブにする（以前のバージョンの Windows のみ）**］のチェックを外し、［**次へ**］をクリックします。
8. ［**プロパティを編集する**］にチェックをつけ、［**完了**］をクリックします。
9. IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、［**全般**］タブを選択します。
10. ［**設定**］をクリックします。
11. ［**キー交換の設定**］ウィンドウで、［**新しいキーを認証して生成する間隔**］に値（分）を入力します。

    注

    - 「プリンターの設定をする」において「Phase1 Proposal」の設定で指定した［**ライフタイム**］と同じ値を指定します。［**ライフタイム**］は秒単位で指定しますが、この手順では分単位で値を入力してください。

12. ［**メソッド**］をクリックします。
13. ［**キー交換のセキュリティー メソッド**］ウィンドウで、［**追加**］をクリックします。

14 [整合性アルゴリズム]、[暗号化アルゴリズム]、および [Diffie-Hellman グループ] を指定します。

注

- 「プリンターの設定をする」(P.35) において「Phase1 Proposal」の設定時に [IKE 暗号化アルゴリズム]、[IKE ハッシュアルゴリズム]、および [Diffie-Hellman グループ] で指定した値と同じ値を選択してください。

15 [OK] をクリックします。

16 [キー交換のセキュリティーメソッド] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

17 [キー交換の設定] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

18 IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、[規則] タブを選択します。

19 [追加] をクリックします。

20 [セキュリティーの規則ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

21 [トンネル エンドポイント] 画面で、[この規則ではトンネルを指定しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

22 [ネットワークの種類] 画面で、[すべてのネットワーク接続] を選択し、[次へ] をクリックします。

23 [IP フィルター一覧] 画面で、[追加] をクリックします。

24 [IP フィルター一覧] ウィンドウで、[追加] をクリックします。

25 [IP フィルターウィザード] で、[次へ] をクリックします。

26 [IP フィルターの説明とミラー化のプロパティ] 画面で、[次へ] をクリックします。

27 [IP トラフィックの発信元] 画面で、[次へ] をクリックします。

28 [IP トラフィックの宛先] 画面で、[次へ] をクリックします。

29 [IP プロトコルの種類] 画面で、[次へ] をクリックします。

30 [完了] をクリックします。

31 [IP フィルター一覧] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

32 [セキュリティーの規則ウィザード] で、新しい IP フィルタをリストから選択し、[次へ] をクリックします。

33 [フィルター操作] 画面で、[追加] をクリックします。

34 [フィルター操作ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

35 [フィルター操作名] 画面で、[名前] と [説明] を入力し、[次へ] をクリックします。

36 [フィルター操作の全般オプション] 画面で、[セキュリティーのネゴシエート] を選択し、[次へ] をクリックします。

37 [IPsec をサポートしないコンピューターと通信中] 画面で、[セキュリティーで保護されていない通信を許可しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

38 [IP トラフィックセキュリティー] 画面で、[カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。

39 [カスタムセキュリティーメソッドの設定] ウィンドウで設定をして、[OK] をクリックします。

注

- 「プリンターの設定をする」(P.35) の「Phase2 Proposal」で行った設定と同じ内容になるように、AH または ESP の設定を行ってください。

40 [IP トラフィック セキュリティー] 画面で、[次へ] をクリックします。

41 [プロパティを編集する] にチェックをつけ、[完了] をクリックします。

42 キー PFS を有効にしたい場合は、フィルタ操作プロパティウィンドウで、[セッション キーの PFS (Perfect Forward Secrecy) を使う] にチェックをつけます。

43 IPSec 通信を IPv6 グローバルアドレスで行う場合は、[セキュリティーで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPsec を使って応答] にチェックをつけます。

44 [OK] をクリックします。

45 新しいフィルタ操作を選択し、[次へ] をクリックします。

46 [認証方法] 画面で、認証方法を選択し、[次へ] をクリックします。

47 [**完了**] をクリックします。

48 IP セキュリティーポリシープロパティウィンドウで、[**OK**] をクリックします。

49 [**ローカル セキュリティー ポリシー**] ウィンドウで、新しい IP セキュリティーポリシーを選択します。

50 [**操作**] メニューから [**割り当て**] を選択します。

51 新しい IP セキュリティーポリシーの [**ポリシーの割り当て**] が [**はい**] と表示されていることを確認します。

52 [**ローカル セキュリティー ポリシー**] ウィンドウで、[**X**] をクリックします。

SNMPv3 を使用する

SNMPv3 に対応した SNMP マネージャーを使うと、プリンターの管理を SNMP で暗号化できます。

1 プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。

2 [**管理者設定**] を選択します。

3 [**ネットワーク設定**] > [**SNMP**] > [**設定**] を選択します。

4 画面の指示に従って、詳細な設定を行います。

5 [**送信**] をクリックします。

ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

IPv6 を使用する

プリンターは IPv6 に対応しています。プリンターは IPv6 アドレスを自動的に取得します。IPv6 アドレスを手動で設定することはできません。

プリンターは次のプロトコルに対応しています。

- 印刷：
  - LPR
  - IPP
  - RAW（Port9100）
  - FTP
- 設定：
  - HTTP
  - SNMPv1/v3
  - Telnet

注

- Windows XP で IPv6 を使用する場合は、IPv6 をインストールしてください。

IPv6 を有効にする

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク設定**］>［**TCP/IP**］を選択します。
4. ［**IP Version**］の［**IPv4 + IPv6**］を選択します。
5. ［**送信**］をクリックします。

   ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。

IPv6 アドレスを確認する

IPv6 アドレスは、自動的に割り当てられます。

1. ［**装置情報**］を選択します。
2. ［**ネットワーク**］>［**TCP/IP**］を選択します。

メモ

- グローバルアドレスがすべて「0」で表示されている場合は、お使いのルーターに起因するエラーの可能性があります。

IEEE802.1X を使用する

プリンターは、IEEE802.1X 認証に対応しています。

次の手順を実行する前に、プリンターとコンピューターをセットアップしてください。

プリンターで IEEE802.1X の設定をする

■ PEAP を使用する

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク設定**］>［**IEEE802.1X**］を選択します。
4. ［**IEEE802.1X**］で［**ENABLE**］を選択します。
5. ［**EAP タイプ**］で［**PEAP**］を選択します。
6. ［**EAP ユーザー**］にユーザー名を入力します。
7. ［**EAP パスワード**］にパスワードを入力します。
8. ［**サーバーを認証する**］を選択し、［**インポート**］をクリックします。
9. CA 証明書のファイル名を入力し、［**OK**］をクリックします。

   RADIUS サーバーが取得する認証局発行の証明書を指定します。PEM、DER、および PKCS#7 ファイルをインポートできます。
10. ［**送信**］をクリックします。

    ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。
11. プリンターがオンライン状態になったら、プリンターの電源を切ります。
12. 「プリンターを認証スイッチに接続する」（P.39）に進みます。

■ EAP-TLS を使用する

1. プリンターの Web ページにアクセスし、管理者としてログインします。
2. ［**管理者設定**］を選択します。
3. ［**ネットワーク設定**］＞［**IEEE802.1X**］を選択します。
4. ［**IEEE802.1X**］で［**ENABLE**］を選択します。
5. ［**EAP タイプ**］の［**EAP-TLS**］を選択します。
6. ［**EAP ユーザー**］にユーザー名を入力します。
7. ［**インポート**］をクリックします。
8. 証明書のファイル名を入力します。
   PKCS#12 ファイルのみインポートできます。
9. 証明書のパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
10. ［**サーバーを認証する**］を選択し、［**インポート**］をクリックします。
11. CA 証明書のファイル名を入力し、［**OK**］をクリックします。
    RADIUS サーバーが取得する認証局発行の証明書を指定します。PEM、DER、および PKCS#7 ファイルをインポートできます。
12. ［**送信**］をクリックします。
    ネットワークカードが再起動して、新しい設定が有効になります。
13. プリンターがオンライン状態になったら、プリンターの電源を切ります。
14. 「プリンターを認証スイッチに接続する」（P.39）に進みます。

プリンターを認証スイッチに接続する

1. プリンターの電源が切れていることを確認してください。
2. イーサネットケーブルをネットワークインターフェースコネクターに接続します。
3. イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに接続します。
4. 電源を入れます。
5. プリンターをセットアップします。

その他の操作

この節では、ネットワーク設定を初期化する方法と、DHCP を使用するようにプリンターおよびコンピューターをセットアップする方法について説明します。

DHCP を使用する

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できます。

! 注

● 管理者の権限が必要です。

メモ

● BOOTP サーバーから IP アドレスを取得することもできます。

DHCP サーバーの設定をする

DHCP は、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに IP アドレスを割り当てます。

! 注

● ネットワーク経由で印刷したい場合は、プリンターが固定 IP アドレスを持っている必要があります。固定 IP アドレスを割り当てる方法については、お使いの DHCP サーバーのマニュアルを参照してください。

メモ

● 以下の OS に対応しています。
  - Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003
● 次の手順では、Windows Server 2008 R2 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

1 [**スタート**] をクリックし、[**管理ツール**] > [**サーバーマネージャー**] を選択します。
  [**管理ツール**] に [**DHCP**] がすでに表示されている場合は、手順 8 に進みます。

2 [**役割の概要**] で [**役割の追加**] を選択します。

3 [**役割の追加ウィザード**] で、[**次へ**] をクリックします。

4 [**DHCP サーバー**] にチェックをつけ、[**次へ**] をクリックします。

5 必要に応じて、画面の指示に従って設定をします。

6 [**インストール オプションの確認**] 画面で、設定を確認し、[**インストール**] をクリックします。

7 インストールが終了したら、[**閉じる**] をクリックします。

8 [**スタート**] をクリックし、[**管理ツール**] > [**DHCP**] を選択して [**DHCP**] ウィザードを起動します。

9 DHCP リストで、使用するサーバーを選択します。

10 [**操作**] メニューから [**新しいスコープ**] を選択します。

11 [**新しいスコープ ウィザード**] で、必要に応じて画面の指示に従って設定をします。

  メモ

  ● 必ずデフォルトゲートウェイの設定をしてください。
  ● [**スコープのアクティブ化**] 画面で、[**今すぐアクティブにする**] を選択します。

12 [**完了**] をクリックします。

13 DHCP リストから新しいスコープを選択し、[**予約**] を選択します。

14 [**操作**] メニューから [**新しい予約**] を選択します。

15 設定をします。

16 [**追加**] をクリックします。

17 [**閉じる**] をクリックします。

18 [**ファイル**] メニューから [**終了**] を選択します。

プリンターの設定をする

以下の説明は、AdminManager と Windows 7 を例にしています。

注

- プリンターの初期設定では、「**DHCP/BOOTP**」が「**ENABLE**」に設定されています。プリンターを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

1. プリンターの電源を入れます。
2. ネットワークカード添付の「**ネットワークソフトウェア CD-ROM**」を挿入します。
3. [**自動再生**] が表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をクリックします。
   [**ユーザーアカウント制御**] ダイアログが表示されたら、[**続行**] をクリックしてください。

   メモ

   - WindowsVista で [**自動起動**] のダイアログが表示されたら、[**Setup.exe の実行**] をダブルクリックしてください。
   - ネットワークソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてもなにも表示されない場合は「**D:¥Setup.exe**」をダブルクリックしてください。
4. **使用許諾契約**を読んで、[**同意する**] をクリックします。
5. 以下の画面が表示されたら、[**NIC 設定ツール**] を選択し、クリックします。

6. 使用する言語をクリックします。
7. [**OKI Device Standard Setup**] をクリックします。
8. [**インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
   AdminManager が起動します。
9. 一覧より Ethernet アドレスを参照して、設定を行うプリンターを選択します。
   機種名には、「**LAN 7130E**」と表示されます。

   メモ

   - Ethernet アドレスは、ネットワークの設定情報の「NIC Check」に表示されています。
10. [**設定**] メニューの [**OKI Device の設定**] を選択します。
11. [**TCP/IP**] タブの [**DHCP/BOOTP を使用する**] をチェックし、[**設定**] をクリックします。
12. 設定に間違いがなければ、[**OK**] をクリックします。
    設定値がプリンターに送信されます。
13. 設定値を有効にするため、[**はい**] をクリックします。

注

- リブート後プリンターは新しい設定値で動作します。

4. こまったときには

この章では、本機の操作中に発生する問題の解決方法について説明します。

印刷できないとき

最初に確認します

❑ 現象

- LINK 100M ランプ（緑）/LINK10M ランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-T で接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STAT ランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブの LINK ランプが点灯しません。
- Ping に応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

❑ ネットワーク接続が原因の場合

- プリンターの電源が入っていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンターに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類が存在します。HUB との接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンターの電源を入れます。ケーブルを接続しないで先にプリンターの電源を入れるとネットワークで接続できないことがあります。

❑ それでも問題が解決しない場合

- [**スタート**] > [**コントロールパネル**]-[**ネットワークとインターネット**] > [**ネットワークの状態とタスクの表示**] > [**アダプターの設定の変更**] を選択します。
  WindowsVista では［**スタート**］>［**ネットワーク**］>［**ネットワークと共有センタ**］>［**ネットワーク接続管理**］を選択します。
  Windows Server 2003 では［**スタート**］>［**コントロールパネル**］>［**ネットワーク接続**］を選択します。
  WindowsXP では［**スタート**］>［**コントロールパネル**］>［**ネットワークとインターネット接続**］>［**ネットワーク接続**］を選択します。
  Windows2000 では［**スタート**］>［**設定**］>［**ネットワークとダイアルアップ接続**］を選択します。［**ローカルエリア接続**］をダブルクリックし、［**プロパティ**］に［**インターネットプロトコル（TCP/IP）**］または、［**インターネットプロトコル　バージョン 4（TCP/IPv4）**］が表示されていることを確認します。
- セットアップ時に IP アドレスでプリンターを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これは Windows の仕様によるものです。
- ［**デバイスとプリンター**］（または［**プリンタ**］や［**プリンタと FAX**］）フォルダーから、［**OKI MICROLINE 8460HU2**］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［**プリンターのプロパティ**］（または、［**プロパティ**］）を選択し、［**ポート**］タブの［**ポートの構成**］をクリックして［**プリンタ名または IP アドレス**］が、プリンターの IP アドレスと一致しているか確認します。
- 「**OKI LPR ユーティリティー**」画面で、［**使用しているプリンタ**］を選択してから［**リモートプリントメニュー**］>［**プリンタの再設定**］を選択し、［**IP アドレス**］がプリンターの IP アドレスと一致しているか確認します。OKI LPR ユーティリティーの最新版は沖データホームページ（http://www. okidata. co.jp）で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPR ユーティリティーを削除”してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IP アドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンター	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンター	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンター	0.0.0.0

プリンターを検出できないとき

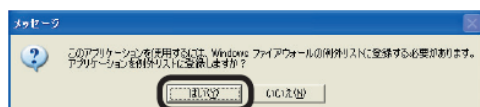
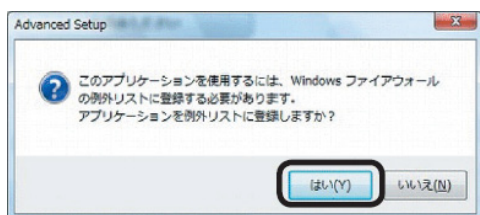
ファイアウォール等のセキュリティソフトを設定している場合、AdminManager でプリンターが検出できない場合があります。

この場合、ファイアウォール等のセキュリティソフトを停止させるか、下記手順にて AdminManager を例外登録してから再度確認してください。

メモ

- ネットワークカードの IP アドレスを設定済みで、PC の IP アドレスセグメントと違う場合は、セグメントを同じにしてください。

AdminManager をインストールせずに直接 CD-ROM から起動している場合

1. 一度 AdminManager を終了します。
2. 「ネットワークソフトウェア CD-ROM」をセットし、[**NIC 設定ツールのインストール**] > [**使用する言語**] > [**OKI Device Standard Setup**] をクリックします。
3. [**インストールしてから起動する**] を選択して [**次へ**] をクリックします。
4. AdminManager をインストールする場合、[**インストールしてから起動する**] を選択し、[**次へ**] をクリックして進めると下記メッセージが表示されます。
   - Windows XP(SP2 以降)/Windows Server2003 で下記メッセージが表示された場合、[**はい**] を選択してください。

   - Windows Vista/Windows7 で下記メッセージが表示された場合、[**はい**] を選択してください。

5. 最後に [**完了**] の画面が表示され、[**完了**] をクリックすると AdminManager が起動します。
6. AdminManager へプリンター名が表示されることを確認してください。

AdminManager をインストールしても正しく表示されない場合

ファイアウォール等のセキュリティソフトを停止させるか、AdminManager を例外登録にしてください。

Windows XP(SP1) をお使いの方

1. Windows XP(SP1) 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、[**ローカルエリア接続のプロパティ**] > [**詳細設定**] > [**インターネットからのコンピューターへのアクセスを制限したり・・・・**] のチェックを外してください。

Windows XP(SP2) をお使いの方

1. Windows XP(SP2 以降) 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、[**コントロールパネル**] > [**Windows ファイアウォール**] > [**例外**] > [**AdminManager**] にチェックを入れてください。

注

- プログラムおよびサービスの欄へ AdminManager が表示されていない場合は、プログラムの追加ボタンを選択して、AdminManager を選択してください。

Windows 7/Vista をお使いの方

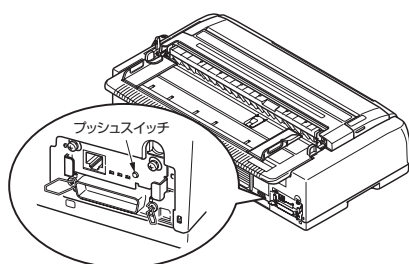
1. Windows7/Windows Vista 環境で TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、[**コントロールパネル**] > [**システムとセキュリティ**] (または [**セキュリティ**]) > [**Windows ファイアウォールによるプログラムの許可**] > [**AdminManager**] にチェックを入れてください。

これまでの操作でも正しく表示されない場合

次の設定を行ってください。手順（1）から（4）により Ethernet アドレスを確認してください。

(1) コンピューターとプリンターをイーサネットケーブルで接続し、コンピューターの電源を入れます。

(2) プリンターの電源を入れ、オンラインになったことを確認します。

(3) ネットワークカードのプッシュスイッチを 3 秒間以上押し続けてから、離します。

ネットワークの設定情報が印刷されます。

(4) 1 ページ目に Ethernet アドレスを印字しますので確認してください。

Ethernet アドレス /MAC アドレスを表します。

```
EthernetBoard LAN7130E Version 1.0.0

*** Diagnostic report ***
   ROM Check : OK  stat: 4033 FFFF 0000 0000
   RAM Check : OK  stat: 0000 0000 0000 0000
   NIC Check : OK  addr: 00:80:92:01:2C:AC   100BASE-TX
EEPROM Check : OK  stat: 4C69 4C69 0000 0000

    E8 02 01 01 -- --

*** Configuration report ***
<< TCP/IP >>
    IP Version                      :IPv4 + IPv6
    IP Address                      :192.168.100.30
    Subnet Mask                     :0.0.0.0
    Gateway Address                 :0.0.0.0
    RARP protocol                   :DISABLE
    DHCP/BOOTP Protocol             :DISABLE
    DNS Server(Pri.)                :0.0.0.0
    DNS Server(Sec.)                :0.0.0.0
    IPv6                            :ENABLE
    root password                   :"****************"
    Dynamic DNS                     :ENABLE
    Domain Name                     :""
<< SNMP >>
    SNMP                            :SNMPv3 + SNMPv1
<< SNMP - SNMPv1 >>
    Read Community                  :"****************"
    Write Community                 :"****************"
```

1 AdminManager の［**設定**］＞［**IP アドレス設定**］を選択します。

2 IP アドレス設定画面へ先ほど確認した Ethernet アドレスと設定する IP アドレスを入力します。

3 パスワード入力画面になりますので、パスワード入力の欄に Ethernet アドレスの下 6 桁を入力し［**OK**］をクリックします。

4 AdminManager へプリンター名が表示されることを確認してください。

そのほかのトラブル

この節では、プリンターの操作中に発生する可能性があるトラブルと、その対処の方法について説明します。

コンピューターから印刷できないとき

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
- アプリケーションが原因の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

一般的な原因

原因	対処方法	参照ページ
プリンターの電源が入っていません。	電源を入れてください。	-
イーサネットケーブルが外れています。	ケーブルがプリンターとコンピューターに、正しく接続されているか確認してください。	-
ケーブルに問題があります。	新しいケーブルと交換してください。	-
プリンターがオフラインになっています。	操作パネルの<**印字可**>ボタンを押します。	-
プリンターの操作パネルにアラームを表示しています。	プリンターのマニュアルを参照し、アラームを解除してください。	-
インターフェースの設定が無効になっています。	お使いのインターフェースの設定を確認してください。	-
印刷機能に問題があります。	プリンターの設定内容が印刷できるか確認してください。	-
プリンターが通常使うプリンターに設定されていません。	通常使うプリンターに設定します。	-
プリンタードライバーの出力ポートが間違っています。	イーサネットケーブルが接続されている出力ポートを選択してください。	-
ほかのインターフェースからの印刷を処理しています。	処理が完了するまでお待ちください。	-
クロスケーブルを使っています。	ストレートケーブルを使用してください。	-
ケーブルを接続する前に、プリンターの電源を入れました。	ケーブルを接続してから、プリンターの電源を入れてください。	14 ページ
IP アドレスが間違っています。	● プリンターの IP アドレスの設定と、コンピューター上で設定しているプリンターの IP アドレスが一致しているか確認してください。 ● OKI LPR ユーティリティをお使いの方は、OKI LPR ユーティリティで IP アドレス設定を確認してください。	25 ページ

各 OS に関する制限事項

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に関する制限事項

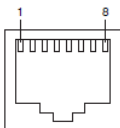
項目	症状	原因 / 対処方法
プリンタードライバー	[**ユーザー アカウント制御**] ダイアログが表示される。	インストーラーまたはユーティリティーの起動時に、[**ユーザー アカウント制御**] ダイアログが表示される場合があります。[**はい**] または [**続行**] をクリックして、インストーラーまたはユーティリティーを管理者として実行します。[**いいえ**] または [**キャンセル**] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack 1 に関する制限事項

■ Windows ファイアウォールに関する制限事項

Windows XP Service Pack 2 と Windows Server 2003 Service Pack 1 では、Windows ファイアウォール機能が強化されています。プリンタードライバーとユーティリティーに、以下の制限事項が生じる場合があります。

メモ

- 次の記載では、Windows XP Service Pack 2 を例にしています。Windows Server 2003 Service Pack 1 では、記載と異なることがあります。

項目	症状	原因 / 対処方法
プリンタードライバー	プリンターをネットワークの共有プリンターとして使用している場合、ファイルを印刷できない。	サーバー側で [**スタート**] > [**コントロール パネル**] > [**セキュリティー センター**] > [**Windows ファイアウォール**] をクリックします。 [**例外**] タブを選択し、[**ファイルとプリンターの共有**] にチェックをつけ、[**OK**] をクリックします。
OKI LPR ユーティリティ	プリンターを検索できない。	Windows ファイアウォールの [**全般**] タブで [**例外を許可しない**] にチェックがついている場合、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができません。同一セグメント内に接続されたプリンターのみ、検索対象となります。 プリンターを検策できない場合は、[**プリンタの追加**] または [**プリンタの再設定**] 画面で、プリンターの IP アドレスを指定します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできない。	[**スタート**] > [**コントロール パネル**] > [**セキュリティー センター**] > [**Windows ファイアウォール**] をクリックします。 [**例外**] タブを選択し、[**プログラムの追加**] をクリックします。[**参照**] をクリックして以下のファイルを選択し、[**開く**] > [**OK**] > [**OK**] をクリックします。 ● (J2EE のインストール先) ¥jdk ¥bin ¥java.exe ● (J2EE のインストール先) ¥jdk ¥bin ¥javaw.exe ● (J2EE のインストール先) ¥jdk ¥jre ¥bin ¥java.exe ● (J2EE のインストール先) ¥jdk ¥jre ¥bin ¥javaw.exe
	ポップアップウィンドウがブロックされる。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウィンドウがブロックされる場合があります。 Internet Explorer で、[**ツール**] メニューから [**インターネット オプション**] を選択します。 [**プライバシー**] タブを選択し、[**ポップアップ ブロック**] 領域の [**設定**] をクリックします。[**ポップアップ ブロックの設定**] ウィンドウの、[**許可する Web サイトのアドレス**] に Print Super Vision の URL を入力し、[**追加**] をクリックします。[**閉じる**] > [**OK**] をクリックします。

5. 付録

■ネットワーク仕様

	7130E
インターフェース	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
プロトコル	TCP/IPv4、TCP/IPv6、SMTP、POP3、HTTP、SNMPv1/v3、DHCP、DNS、LPR、Port9100、BOOTP、ARP、FTP、SLP、Bonjour、Web Services Discovery（WSD）、NetWare、NetBEUI
対応ブラウザー	Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

■ネットワークインターフェース仕様

	7130E
ネットワークプロトコル	TCP/IP 関連、NetWare 関連、NetBEUI 関連
コネクター	100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）
ケーブル	RJ-45 コネクター付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）
コネクターピン配列	1 8

インターフェース信号

ピン No.	信号名	方向	機能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ＋
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ＋
4	–	–	使用していません。
5	–	–	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	–	–	使用していません。
8	–	–	使用していません。

索引

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

45352701EE Rev1